

# インクルーシブの窓



富山県教育委員会県立学校課特別支援教育班

子供の声に耳を傾けることから始めましょう！



平成19年に学校教育法が改正され、特別な場で教育を行う「特殊教育」から、子供一人一人の教育的ニーズに応じた指導及び必要な支援を行う「特別支援教育」に移行して、15年が経ちます。

富山県では、令和4年3月に『富山県特別支援教育将来構想～新しい令和の時代に目指す姿と実現に向けた取組～』（以下、将来構想）を取りまとめました。すでに目を通された方も多と思います。序章には、インクルーシブ教育システムの理念に基づき特別支援教育の振興を図っていく必要があるとした上で、「全ての子供の人権が尊重されるとともに、今後の共生社会を築き、その中で生きていくのは子供たちであるという、子供を真ん中に置いた視点が重要」と書かれています。皆さんは、どのような学校、学級の取組をイメージされるでしょうか？

将来構想を読み進めていくと、「一人一人」「教育的ニーズ」という言葉が多く使われていることが分かります。共生社会の実現に向けて、全ての子供の教育的ニーズを捉えて整理しながら指導や必要な支援を進めていくことの大切さに気付かされます。実現に向けた取組の詳細は、このインクルーシブ教育だよりで紹介していきますが、特に注目したいのは、下のような質問に基づいた子供たちの声が将来構想の策定に生かされていることです。

- 1 学校で、楽しいことは何ですか？
- 2 学校で、困っていることは何ですか？
- 3 学校で、もっとやってみたいことは、何かありますか？
- 4 学校で、先生からどんなことを教わりたいですか？
- 5 学校で、先生と一緒に、もっとやってみたいことは何ですか？
- 6 これから、パソコンやタブレットを使ってどんな勉強をしたいですか？
- 7 これまで、とても役に立った勉強やおもしろかった勉強があれば、教えてください。
- 8 将来、どんな仕事をしたいですか。どんな会社で働きたいですか？
- 9 将来働くために、頑張っていることや、これから頑張りたいことは何かありますか？
- 10 学校にあればよいものや、直してほしいところは何かありますか？
- 11 あなたの学校に、これからどんなことを期待しますか。希望しますか？



皆さんの学校、学級の子供たちからはどんな声が聞かれるでしょうか？将来構想は、すでに各学校等にデータ配布し、県のホームページにも掲載しています。ぜひ読んでいただき、教育に携わるすべての関係者が目指す姿を共有して日々の教育実践に取り組んでいきましょう。

## <引用・参考>

- 富山県特別支援教育将来構想（富山県教育委員会、令和4年3月）  
富山県ホームページ内 アドレス

<https://www.pref.toyama.jp/documents/21315/syouraikousou.pdf>

QRコード

